

6年学年だより Believe

令和8年1月22日
第6学年だより
第29号
今週の文責：岩木 智恵

今週20日に、二十四節気の一つ「大寒」を迎えました。一年で最も寒さが厳しい時期とされ、朝夕の冷え込みも一段と増した1週間でした。この寒さの中、自然は春に向けて静かに力を蓄えています。木々の芽は寒さに耐えながら、次の季節への準備を進めています。子どもたちもまた、日々の学習や生活の中で、目に見えない成長を重ねている時期です。寒さが続いますが、体調管理に気を配りながら、落ち着いて毎日を過ごしてほしいと思います。

社会科見学に行きました

1月16日に社会科見学で、国會議事堂と科学技術館に行きました。科学技術館では、展示を体験しながら科学や技術の面白さや大切さに触れ、意欲的に学ぶ姿が多く見られました。また、国會議事堂では、日本の政治の中心となる場所を実際に見学し、国の仕組みや国会の役割について理解を深めることができました。メモを取ったり、説明をよく聞いたりする姿から、学びに向かう真剣な態度が感じられ、6年生として立派な姿が見られました。また、朝の登校やお昼の時間には5分前に集合することができました。一人一人が時間を意識して行動できたことで、全体が遅れることなくスムーズに見学することができました。一方で、今回の社会科見学では、社会の一員としてのマナーやルールについて、課題が見られました。特に、バス車内での態度については、声の大きさや座り方、周囲への配慮が十分でない場面がありました。公共の場では、自分たちだけではなく、運転手さんやガイドさん、周りの人のことを考えた行動が求められます。楽しい気持ちが大きくなる中でも、ルールを守り、節度ある行動を取ることの大切さを改めて考える必要があると振り返りました。今回の社会科見学では、知識を深めるだけでなく、社会の中でどのように行動するかを学ぶ大切な機会にもなりました。よかった点は自信につなげ、課題となった点はしっかりと振り返り、これから学校生活や行事に生かしていきます。6年生には、最高学年として一人一人がよりよい行動を考え、周囲の模範となる行動を実践していくよう指導していきます。

